

本県における高病原性鳥インフルエンザの対応状況について

1 要旨・目的

令和6年度の国内における高病原性鳥インフルエンザウイルスの発生を受け、本県の取組状況について報告する。

2 現状・背景

令和6年度は、これまでで最も早く令和6年10月17日に国内1例目が確認され、令和7年2月1日までに14道県51事例発生している。（発生規模合計：約953万羽）

また、野鳥では令和7年2月3日までに1道16県110事例で陽性が確認されている。

なお、本県ではこれまで高病原性鳥インフルエンザの発生事例および野鳥陽性事例は確認されていない。

3 広島県の対応状況（発生予防）

（1）令和6年4月～9月

ア 令和4年度の県内での鳥インフルエンザ連続発生を振り返り、近年、多く発生していたウインドウレス鶏舎を中心に、ハード対策として、特に空気を取り込む箇所の点検や修繕、ソフト対策として、衛生意識水準向上のために作成した7か国語での研修動画の県ホームページへの掲載及び農場消毒計画の策定指導を実施

イ 令和5年度の発生を振り返り、開放鶏舎での発生予防対策を集中的に実施

- ・野生動物の農場への侵入防止対策の再点検と修繕
- ・野鳥、主にため池に飛来する カモ類、あるいは、近年、感染事例が増えているカラスの農場への飛来を低減する対策の強化

（2）令和6年10月

ア 防疫連絡会議の開催

国内で発生する前に、関係者を集めた防疫連絡会議で防疫体制の強化を確認し、あらためて部外者の立入制限などを含む衛生管理基準の徹底を確認

イ 衛生の基本行動7か国語研修会を毎週、計4日開催

（3）令和6年11月

令和6年10月31日に隣県の島根県で鳥インフルエンザが発生したため、県は危機管理運営要領に基づき、警戒体制に移行し、対応を強化

ア 養鶏場へ消毒用の消石灰の配布

イ 今期発生の最新の疫学調査をもとに次の追加対策を実施

（ア）鶏舎周辺及び作業員の塵埃対策

- ・入気口フィルターの設置（ウインドウレス鶏舎）と消毒液噴霧
- ・敷地内の消石灰散布に加え、鶏舎や構造物の消毒液噴霧（乾燥防止）
- ・専用長靴の消毒及び従業員の建物立入時の消毒液ミストによる塵埃除去・消毒の励行（農場専用衣服着用時も含む）

（イ）すべての農場立入者の車両消毒、靴・衣服の交換や消毒の再徹底

（ウ）過去発生農場における再発リスクの共有及び対策状況の確認

（エ）夜間の野生動物の侵入リスクの把握（監視カメラ設置による侵入状況確認）

(4) 令和6年12月

年末年始の各農場人員体制に基づく作業手順の確認、衛生の基本行動の遵守体制及び異常通報体制の確認

(5) 令和7年1月

連続発生県へ県職員（家畜防疫員）を応援派遣するとともに、連続発生原因の情報収集を行い、本県の対応を強化

ア 県内養鶏場責任者を参集した緊急会議の開催により、他県の続発情報を元に、次の対策を追加・確認

- ・入気口フィルター・不織布の設置（WL・開放鶏舎）と消毒液噴霧
- ・経営者・従業員が、自農場の弱点と認識している箇所の改善
- ・餌場としないための整頓・清掃、野鳥が飛んでこない対策（テグス設置）
- ・風向きの把握（塵埃リスク）
- ・死亡野鳥発見時の従業員の対応想定

イ 衛生の基本行動7か国語研修会を再度開催し、従業員の衛生水準を強化

4 今後の予定

(1) 県内農場の発生予防対策優良事例の取りまとめ及び共有

(2) 県内過去発生農場が実施してきた衛生強化策の共有（講演研修会の開催）

(3) 渡り鳥の北帰行及び餌不足がピークになる晩冬時期のカラス等野鳥対策の再徹底

5 その他（県職員（家畜防疫員）の県外派遣状況（鳥インフルエンザ））

(1) 令和6年11月：島根県（3名）

(2) 令和6年12月：茨城県（1名）

(3) 令和7年1月：岩手県（2名）、愛知県（1名）、千葉県（4名）

(4) 令和7年2月：千葉県（2名）

参考：今年度（令和6年度）シーズンの国内の発生状況

●鶏

これまでに最も早く10月17日に国内1例目が確認され、令和7年2月1日までに14道県51事例発生している。（発生規模合計：約935万羽）

【発生状況】

	都道府県	発生日	発生規模	殺処分完了	防疫措置完了
1 例目	北海道	10 月 17 日	約 2.0 万羽	10 月 18 日	10 月 20 日
2 例目	千葉県	10 月 23 日	約 3.7 万羽	10 月 24 日	10 月 24 日
3 例目	新潟県	10 月 26 日	188 羽	10 月 26 日	10 月 26 日
4 例目	島根県	10 月 31 日	約 40 万羽	11 月 7 日	11 月 10 日
5 例目	新潟県	11 月 6 日	約 33.7 万羽	11 月 10 日	11 月 12 日
6 例目	香川県	11 月 7 日	約 7.1 万羽	11 月 10 日	11 月 12 日
7 例目	宮城県	11 月 10 日	約 17.1 万羽	11 月 12 日	11 月 16 日
8 例目	北海道	11 月 12 日	約 4.4 万羽	11 月 13 日	11 月 16 日
9 例目	岐阜県	11 月 19 日	約 1.5 万羽	11 月 20 日	11 月 22 日
10 例目	鹿児島県	11 月 20 日	約 12 万羽	11 月 22 日	11 月 25 日
11 例目	埼玉県	11 月 25 日	2,500 羽	11 月 25 日	11 月 26 日
12 例目	宮崎県	12 月 3 日	約 3.5 万羽	12 月 3 日	12 月 4 日
13 例目	愛媛県	12 月 10 日	約 23.6 万羽	12 月 17 日	12 月 20 日
14 例目	愛媛県	12 月 19 日	約 11 万羽	12 月 23 日	12 月 26 日
15 例目	鹿児島県	12 月 20 日	約 9 万羽	12 月 21 日	12 月 23 日
16 例目	茨城県	12 月 29 日	約 108.5 万羽	1 月 5 日	1 月 17 日
17 例目	愛知県	1 月 2 日	約 14.7 万羽	1 月 6 日	2 月 1 日
18 例目	岩手県	1 月 2 日	約 12 万羽	1 月 5 日	1 月 6 日

	都道府県	発生日	発生規模	殺処分完了	防疫措置完了
19 例目	岩手県	1 月 5 日	約 5 万羽	1 月 6 日	1 月 7 日
20 例目	愛知県	1 月 6 日	約 12 万羽	1 月 10 日	
21 例目	鹿児島県	1 月 7 日	約 12 万羽	1 月 8 日	1 月 9 日
22 例目	愛知県	1 月 9 日	約 12.7 万羽	1 月 14 日	2 月 4 日
23 例目	愛知県	1 月 10 日	約 5.7 万羽	1 月 15 日	1 月 30 日
24 例目	愛知県	1 月 10 日	約 12 万羽	1 月 15 日	1 月 30 日
25 例目	宮崎県	1 月 11 日	約 3 万羽	1 月 11 日	1 月 12 日
26 例目	岩手県	1 月 11 日	約 40 万羽	1 月 16 日	1 月 16 日
27 例目	愛知県	1 月 11 日	約 1.7 万羽	1 月 12 日	1 月 30 日
28 例目	千葉県	1 月 12 日	約 41 万羽	1 月 22 日	
29 例目	千葉県	1 月 15 日	約 42 万羽	2 月 1 日	
30 例目	愛知県	1 月 16 日	約 9.1 万羽	1 月 18 日	1 月 31 日
31 例目	千葉県	1 月 16 日	約 3.8 万羽	1 月 18 日	1 月 27 日
32 例目	千葉県	1 月 18 日	約 48 万羽	1 月 24 日	1 月 31 日
33 例目	愛知県	1 月 19 日	約 12.7 万羽	1 月 23 日	2 月 4 日
34 例目	愛知県	1 月 19 日	約 20.6 万羽	1 月 25 日	2 月 1 日
35 例目	愛知県	1 月 19 日	約 5.9 万羽	1 月 23 日	1 月 31 日
36 例目	愛知県	1 月 19 日	約 25.1 万羽 うずら	1 月 22 日	1 月 28 日
37 例目	千葉県	1 月 19 日	約 28 万羽	2 月 4 日	
38 例目	千葉県	1 月 19 日	約 36 万羽	1 月 26 日	
39 例目	千葉県	1 月 19 日	約 1.7 万羽 (関連約 13.9 万羽)	1 月 30 日	

	都道府県	発生日	発生規模	殺処分完了	防疫措置完了
40 例目	愛知県	1 月 21 日	約 12.5 万羽	1 月 27 日	
41 例目	岩手県	1 月 22 日	約 36 万羽	1 月 29 日	1 月 31 日
42 例目	岩手県	1 月 22 日	約 30 万羽	1 月 28 日	1 月 30 日
43 例目	千葉県	1 月 24 日	約 39 万羽	2 月 5 日	
44 例目	千葉県	1 月 28 日	約 8 万羽	1 月 31 日	
45 例目	千葉県	1 月 28 日	約 24 万羽	2 月 4 日	
46 例目	千葉県	1 月 28 日	約 22 万羽	2 月 1 日	
47 例目	千葉県	1 月 29 日	約 3.6 万羽	1 月 31 日	
48 例目	愛知県	1 月 31 日	約 42.5 万羽		
49 例目	千葉県	1 月 31 日	約 7.7 万羽	2 月 3 日	
50 例目	千葉県	1 月 31 日	約 8.1 万羽	2 月 3 日	
51 例目	千葉県	2 月 1 日	約 9 万羽	2 月 3 日	

※1 例目～43 例目は H5N1 亜型。44～51 例目は検査中。

●野鳥

1 全国では、2 月 3 日までに 1 道 16 県 110 事例で陽性が確認

北海道：34 事例（ハヤブサ、ヒドリガモ、オジロワシ、オオハクチョウ、タンチョウ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、オオワシ）

青森県：1 事例（ハシブトガラス）

岩手県：3 事例（オオハクチョウ、ノスリ）

秋田県：2 事例（コガモ）

福島県：3 事例（コガモ、オオハクチョウ）

埼玉県：2 事例（ハヤブサ、オシドリ）

千葉県：1事例（野鳥類）

新潟県：4事例（オオタカ、キンクロハジロ）

福井県：1事例（ハヤブサ）

愛知県：2事例（ヒドリガモ、ハシブトガラス）

滋賀県：2事例（ハヤブサ・ヒドリガモ）

鳥取県：2事例（カモ・ハクチョウ類）

徳島県：1事例（ヒドリガモ）

高知県：1事例（ノスリ）

福岡県：1事例（ヒドリガモ）

熊本県：1事例（ヒドリガモ）

鹿児島県：49事例（ナベヅル・ヒドリガモ、マナヅル）

（検査中：4事例）

2 広島県では、現在まですべて陰性（12事例 88羽）

広島市：5事例（ソウシチョウ、フクロウ、ハト）

三原市：2事例（ソウシチョウ）

福山市：3事例（ソウシチョウ・ヒドリガモ・フクロウ）

海田町：1事例（ソウシチョウ）

安芸太田町：1事例（ソウシチョウ）